

# O B 会報

第九号

横浜国立大学  
ワンダーフォーゲル部  
O B 会発行  
1968. 7. 15.

されており、又その他各委員会の報告は細部にわたりますので省略させていただきます。

## 4. 四十二年度会計報告

次頁のとおり報告があり、承認された。

## 5. 四十三年度予算案

次頁の通り承認された。

総会にてO B 会新役員任命	Y W V · O B 会の進むべき道 井田
貴任員	1

総会にてO B 会新役員任命	Y W V · O B 会の進むべき道 井田
貴任員	1

## 総会にて

### O B 会新役員任命

昭和四十二年度O B 会総会

は四十二年十一月横浜市内 Y

M C A 会議室にて開催され、

左記事項を決定の上無事終了

致しました。以下報告致しま

す。(議長 宮崎、密島)

1. 新OB 加入の件

適格者の内、会加入の意志

表示のあつた人は満場一致で

加入を承認、意志表示不明の

人は四十三年三月迄に意志表

(省略) 山小屋委員会をは

示があれば入会を認めること

とした。不適格者(現役部費

未納者)については、部費納

入次第適格者とみなし、更に

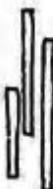
司より逐次報告が会報に記載

顧問

嘉納

・井上

松本



山小屋建設に

御協力を!! 郡司直樹 6

十周年記念 W 7

結婚おめでとう 8

広告コーナー 8

各役員、事務局員を任命致しました。

各役員、事務局員を任命致しました。

各役員、事務局員を任命致しました。

## ▽▽もくじ▽▽

月例ワンドーリング	その一 援助金 4
第二回夏合宿 4	その二 アルバム 4
むべき道 井田 3	その三 月例報告 4
Y W V · O B 会の進むべき道 井田	その四 参加者表 5
貴任員 1	彰 5

十周年行事委員長	OB会報編集委員長	部史編さん委員長	関西支部長	事務局長	会計
米屋	密島	井上	渡辺	井田	跡部

尚、遭難対策委員長は適任者不在につき、決定は事務局に一任することになりました。

密島、岡村、佐々木

五・六期以降の方々に引継ぐ予定しております。

(御希望の方は至急事務局迄  
意志表示をお願いします)  
事務局員 米屋(十周年行事終了迄)、井上、白井、江崎、井  
田、跡部、郡司、蓑浦、亀井、  
尚、本役員陣の在任期間は極

り、OB会役員から一期二期生はできるだけ遠慮申し上げ、大いに若い頭脳を抜けて、するよう致しました。  
力短くし、できるだけ早く、  
ご覧になつてお気付きの通り、OB会役員から一期二期生はできるだけ遠慮申し上げ、大いに若い頭脳を抜けて、するよう致しました。

もうけ、食事をしながら雑談致しました。皆の近況報告、昔のはなし、今後の予定等、とても楽しい夕べでした。  
(文中敬称略 四期跡部)

収入の部	支出の部
OB会費(注1)	通信費
家族会員会費	OB会報発行費
収入利息	名簿印刷代
未収入金(注2)	会議費
前年度繰越金	(会場使用料他)
	印鑑他文具購入
	追出コンバ
	(4年生)記念品
	その他
	10周年記念返払金
	翌年度繰越金
	繰越未収入金
計	計

(注1)  
40年度分  
41 "  
42 "  
43 "(注2)  
1 期  
2 "  
3 "  
4 "  
5 "  
6 "  
計

## 43年度OB会予算

収入の部	支出の部
前期繰越金	現役対策費
未収入金徴収	OB会報発行費
会費収入	通信費
(43年度分)	名簿印刷費
計	会議費
	感光紙費
	特別活動費
	予備費
	計
支出の部	
10周年事業費	
事務局活動費	
各専門委経費	
ワングリング経費	
装備費	

# YWV・OB会の

## 進むべき道

新事務局長 井田 (三期)

OB会の雑用係となつてから、雑用の合間に気のついたことをここに申し述べて挨拶といたします。

OB会創立以来十年余が過ぎ、様々なタイプのワンドラーラーが巣立ち、あるものはOB会の中枢として残り、またあるものはワングルから遠去つて行きました。OB会の諸先輩の努力のかいあつて会の発展も目覚しく、いろいろな世代の異なるつたタイプのワンドラーが、形式的にはOBの名のもとに統一され、しかし、現役時代の延長としてOB会に自動的に加入していった最初の頃と違つて、近頃ではOB会の意義そのもの創造の場とならなければな

りません。

事務局では、そのため月

例ワンドリング、夏合宿、その他親睦会などを行なつてきました。今後、一層の拡充を計るつもりであります。しか

し、今一つの盛り上りに不足して、特に若いOBの参加が得られず、所期の目的を達成

するだけで、OB会の今後の発展を期することは不可能となりたと断言できます。すな

わち、世代交代の断層へとくに人間関係について)を纏め、OB会は種々の欠陥をもつてあります。OBにとって山や野で考える時代は過ぎ去つたのかかもしれません。人を魅きつける力などもうないのかも

します。OBにとつて山や野で考える時代は過ぎ去つたのかかもしれません。人を魅きつける力などもうないのかも

しれません。しかし、外部から眺めているだけでは事態は好転しません。OB会はわれわれワンドラー一人一人と同じ体質なのですから、体質を

変えるためには、まず参加することによって自分自身の欠点としての認識から再出発しようではありませんか。

事務局では

①OB会を新しい仲間作りの場としよう。

②OBもワンドラーである以上、まずワンドラーとしての実績を示そう。

③ワンドラー同志のつながりを持続させよう。

の三点を四十三年度活動の基本にして、曲り角にきたOB会の発展に微力を尽くす所存です。多忙な毎日毎日の余暇にこそ、ワングル精神の復活が必要とされるときはあります。

OB諸氏のご協力を願いいたします。



## 第2回 夏合宿

我々横浜園大同窓のワンダラーの長年の夢であつた山小屋も今秋には竣工のはこびとなり、OB会もますます発展しています。この発展の中で関東で行なわれている月例Wの集会として、又東西OB間の交流の場として、左記の通り第二回夏合宿を開催いたしますので、全国津々浦々のOB会員はこぞつてご参加下さるようお願い申し上げます。

### 記

一、期日 八月十七（金）～二十日（月）

二、場所 長野県笛ヶ峯牧場（小屋のできる杉野沢はまだ合宿には無理）

三、形態 ベースキャンプ方式

四、コース

A 十七日朝田口着、笛ヶ峯牧場に設営、小屋周辺散策。十八日妙高登山、頂上にてB隊と合流。

B 十八日朝関山着、燕温泉を経て妙高登山。A隊と頂上にて合流後、キャンプ場へ下山。

C 十九日朝直接キャンプ場へ。

全員にて笛ヶ峯周辺散策。正午テント撤収後一部解散。残留部隊妙高登山、小屋泊り。二十日下山。解散。

（六期 密島）

### 特集 § 月例ワンダリング

\*\*\*\*\*  
※その一 月例ワンダリング  
援 助 金

※その二

十一月の総会で今年度の予算が決まりました。そして会費は有効に会員に還元すべきであるということで、合宿、月例ワンダリング、総会、その他の行事になるべく多くの補助をすることになりました。

月例ワンダリングについては一回 円の援助金が出ます。これでみんなの菓子代にしようといふのです。またOB会も月例ワンダリング用に、ラジウス、コツヘルの装備を持つことになりました。

月例ワンダリング報告  
◎第二十二回 十一月二十六日 大霧山  
上、谷合、時田

リソングにおいて行ないましよ  
う。

### アルバム作り

今までの月例ワンダリングの記録を保存する意味でアルバム作成を開始しました。今までの写真をお持ちの方は寄贈願います。

なお、アルバムは事務局の跡部が保管しています。

※その三

皆さん、是非月例ワンダリングにご参加下さい。お互に疎遠になりつゝある現在、お互いの認識は、まずワンダ 父盆地をながめできました。

- ◎第二十三回 十二月九日・二十八日 守屋山  
十日 大室山(十周年記念) 井上、佐木、平沼、畠中  
嘉納、吉野、塙原、  
L井上、齊藤、井田、井上、雨女ぞろいとみえて途中から  
宮崎、  
跡部、郡司、谷上、牧原、龜  
共、羽島、菅谷、密島、白神、  
八島、下村、岡村、佐々木、  
中島、原  
◎第二十四回 一月二十七日 古莊  
L跡部、吉野、郡司、密島、  
二十八日 瑞橋山  
L跡部、井上、  
知る人ぞ知る。
- ◎第二十五回 二月二十五日 鎌倉裏山  
L密島、宮崎、諸節  
ヤブコギをしたり梅を見たり、雪も残つてたけど春でした。  
た。
- ◎第二十六回 三月二十四日 L井上、吉野、宮崎、跡  
部  
新OB歓迎とは名ばかり、マトンを腹いっぱい食べました。  
た。
- ◎第二十七回 四月二十七日 また年間(十月一日から九月三十日)月例ワンドーリング
- ・二十八日 守屋山  
大野山  
L跡部、吉野、郡司、密島、  
二十九日 古莊  
ワラビがたくさんありました。  
※その四  
(4)
- 月例W参加者表彰  
錦倉裏山  
L密島、宮崎、諸節  
ヤブコギをしたり梅を見たり、雪も残つてたけど春でした。  
た。
- ◎第二十五回 二月二十五日 鎌倉裏山  
L密島、宮崎、諸節  
ヤブコギをしたり梅を見たり、雪も残つてたけど春でした。  
た。
- ◎第二十六回 三月二十四日 L井上、吉野、宮崎、跡  
部  
新OB歓迎とは名ばかり、マトンを腹いっぱい食べました。  
た。
- ◎第二十七回 四月二十七日 また年間(十月一日から九月三十日)月例ワンドーリング
- ・二十八日 守屋山  
大野山  
L跡部、吉野、郡司、密島、  
二十九日 古莊  
ワラビがたくさんありました。  
※その四  
(4)
- 月例W参加者表彰  
錦倉裏山  
L密島、宮崎、諸節  
ヤブコギをしたり梅を見たり、雪も残つてたけど春でした。  
た。
- ◎第二十五回 二月二十五日 鎌倉裏山  
L密島、宮崎、諸節  
ヤブコギをしたり梅を見たり、雪も残つてたけど春でした。  
た。
- ◎第二十六回 三月二十四日 L井上、吉野、宮崎、跡  
部  
新OB歓迎とは名ばかり、マトンを腹いっぱい食べました。  
た。
- ◎第二十七回 四月二十七日 また年間(十月一日から九月三十日)月例ワンドーリング

最多参加者についても表彰し  
品をお渡しいたします。  
◎企画賞  
第三回 W 塙原(2)  
第四回 W 跡部(4)  
第五回 W 吉野(2)  
第七回 W 嘉納(1)  
第八回 W 井上(3)、郡司  
(4)  
第十回 W 谷上(4)  
第十一回 W 谷(4)、織田  
(4)  
第十二回 W 宮崎(2)、  
岩村(2)、跡部(4)  
第十九回 W 諸節(3)  
第二十回 W 時田(5)  
第二十二回 W 塙原(2)  
第二十三回 W 密島(6)  
◎昭和四十一年度最多賞  
五回 嘉納(1)、吉野(2)  
郡司(4)  
◎昭和四十二年度最多賞  
七回 宮崎(2)、井上(3)  
第十三回 W 井上  
(五期 井上)

第一回 W 宮崎  
第二回 W 跡部  
第三回 W 郡司  
第四回 W 吉野  
第五回 W 嘉納  
第六回 W 谷上  
(2)  
第八回 W 宮崎  
(2)  
第九回 W 密島  
(6)  
第二十三回 W 井上  
(3)  
◎昭和四十一年度最多賞  
五回 嘉納(1)、吉野(2)  
郡司(4)  
◎昭和四十二年度最多賞  
七回 宮崎(2)、井上(3)  
第十三回 W 井上  
(五期 井上)

# 山小屋建設に御協力を!!

山小屋建設委員 郡 司 (四期)

この会報がO.B.会員の皆様方のお手元に到着する前に、すでに送付しました「山小屋建設趣意書」にて、山小屋建設事業の全体的な状況は理解いただけていると思いますが、昨年末に土地を賃貸借契約しました件から順に、その詳細を報告し、併せて今後の予定等を記します。

筆ヶ峰地区で我々が山小屋建設に最適の場所と結論を下した土地の所有者岡田 氏(杉野沢・民宿五八木荘経営)に会いに、四二年の暮もおしつた十二月二十四日に現役の松川(九期)と私の二人で雪の降りしきる妙高々原に赴き岡田氏所有の造林小屋の付近○坪(雜木林)を午額円にて

又付近

坪は幕営等の

に樂になるものと思われます。四年になつてO.B.側は事務局会で山小屋の資金面の具體時な検討に入り、杉野沢の建設業者和信建設(早大の山小屋を工事した会社)の話など資料にして討議した結果、

O.B.会員諸兄諸姉に配布致し、正式に山小屋建設資金の募金を開始しました。

五月の連休には、吉野(二期)、跡部(四期)の両名が現地調査に筆ヶ峰へ行き、現地の詳細並びに今夏着工するのに必要な準備事項等を調査し、又建設業者とも山小屋建設工事の見積り作成の件で接觸してきました。その結果、

資本面から小屋の内装工事が後回しになるような事態が生じても、できるだけ収容人員の多い設計(五十名程度収容)とする。早大の小屋の例(坪×円)をみて資金目標総額の不足が懸念されるので、O.B.会員数を考慮した上で資金総額を円に上げるとの結論に達し、O.B.側の募金目標金額は円になつたのであります。

土地を実際に見て來ることができませんでした。しかしスキー場も今年一月より再開された由ですし、国土計画が妙高山の斜面を利用して大スキーライドを開発予定しているので成にかかり、多大の日時を費しましたが四月にやつと印刷の運びとなり、O.B.会事務局の運びとなり、O.B.会の承認を得て趣意書等の書類をO.B.会員諸兄諸姉に配布

に樂になるものと思われます。四年になつてO.B.側は事務局会で山小屋の資金面の具體時な検討に入り、杉野沢の建設業者和信建設(早大の山小屋を工事した会社)の話など資料にして討議した結果、

五月の連休には、吉野(二期)、跡部(四期)の両名が現地調査に筆ヶ峰へ行き、現地の詳細並びに今夏着工するのに必要な準備事項等を調査し、又建設業者とも山小屋建設工事の見積り作成の件で接觸してきました。その結果、

資本面から小屋の内装工事が後回しになるような事態が生じても、できるだけ収容人員の多い設計(五十名程度収容)とする。早大の小屋の例(坪×円)をみて資金目標総額の不足が懸念されるので、O.B.会員数を考慮した上で資金総額を円に上げるとの結論に達し、O.B.側の募金目標金額は円になつたのであります。

今後は、O.B.、現役合同山小屋建設委員会で山小屋運営のための使用細則を作成し、会員の皆様方が手軽に自分達の山小屋を利用できて、O.B.

・現役が広く深く親睦の情を増し、共に談笑し会えるよう

な山小屋にしたいと考えまして、運営の問題に取り組むことになつています。

次に山小屋建設の日程は次の如くに予定しています。

六月 建設業者と工事請負契約

七月 建設着工

十月 竣工並びに落成式

尚、八月中旬には別稿に記載の如く、建設工事状況の視察を兼ねてOB会第二回目の夏合宿が笛ヶ峰で予定されていますので、皆様方たくさんのご参集を期待しています。

右ご報告致しました如く、私達の山小屋を建てようという運動が開始されてから皆様方のご協力によりまして、やつと四年目で建設工事にかかり段階に迄到着する事ができました。この一大事業の成否は、残るは資金が集められるか否かにかかる事です。

OB会員の皆様今一度お願ひ

致します。どうぞ山小屋建設にご協力を!!

#### 山小屋建設資金募金状況

(六月三十日現在)

○寄付金総額

円

○貯金利子

円

合計

円

完納者(敬称略)

円

(一期) 嘉納 田上

円

(二期) 藤林 渡辺

円

(三期) 岩村 松本

円

(四期) 齋藤 望

円

(五期) 宮崎 渡辺

円

(六期) 井田 井上

円

(七期) 江崎 白井

円

(一期) 跡部 谷上

円

(二期) 郡司 谷

円

(三期) 渡辺 横山

円

(四期) 齋藤 須賀

円

(五期) 密島 岡村

円

(六期) 佐々木

円

頭金納入者

(一期) 桑原 河野

円

(二期) 吉野 塚原

円

(三期) 岩上

円

目的地へ。おいしかったのは、ジンギスカンとすき焼き。これがなかつたら、すぐわれないようなワンドーリングでした。と、あるお嬢さんが言つていきました。

大室山の頂上では、十周年記念の道標が建てられ、OB、現役とともに、十周年を祝いました。

記念の道標が建てられ、OB、現役とともに、十周年を祝いました。

#### 十周年記念 ワンドーリング

横浜国大にワングルが生まれて早十年たちました。

そこで十二月の月例ワンドーリングは、このワングル創立十周年記念ワンドーリングをかねて、現役の追い出しコンバ

ねて、現役の追い出しコンバに引き続き、現役と合同で行なわれました。

「追い出しコンバ」とは食

べてさわいで寝るものだと思ふ。いこんでいたら、しごかれつぱなし。ヒーヒーいいながら

ご本人黙して語らず。ただニコニコしているのみ

宇岡田

(旧姓岡崎)  
ワングルカップル・ナンバーフォー

三月二十七日



中原

(旧姓二宮)

五月六日

すてきなおむさんでした  
との報告あり。

四月十二日

中竹内

(旧姓服部)

二人で協力し、明るく、心  
豊かな家庭を築くと言つて  
います。

四月二十一日

中松本

(旧姓猪原)

またもや、ワングルカップ  
ル。なんとすばらしいクラ  
ブでしよう。

五月三日

中斎藤

(旧姓山中)

ヒルトンホテルにて。

新婦は油化のおとなり、三

菱モンサンント勤務だつたと  
か。研究に出向した彼氏が

その生涯における、最大の  
発見をした、とのことで

した。

◆広告募集  
花嫁・花婿探しの広告など  
いかがですか。  
生活の中の意見や紀行文な  
どもよせ下さい。

編集部

編集総記

七十年安保を論争の焦点と  
した参議院選の審判も下つた  
今日、東大、早大をはじめ、  
全国的に大学当局と学生のあ  
り方が問題化されています。

学窓を巣立ち時久しくなると  
これらのことが全く他人ごと  
に思われたりしてきます。  
「問題意識をもて」。そう、  
われわれサークルでよく使つ  
た言葉です。最近OB会にも  
この言葉が通用するようにな  
つてきたのでは、とふと感じ  
ことがあります。



立スカイライン売ります

四十二年九月、および四十

三年一月発売の一〇〇〇G T

じゃなくて、V O L 10、No 1

No 2です。部数若干

ご希望の方は代金(一冊二  
百円)を添えて申し込みを。

送料当方負担

四期跡部

印刷 横浜市鶴見区生麦三ノ五  
電話 ノ二四  
橋 謄 写 堂

編集責任者 密島  
発行責任者 松本

OB会報第九号